

No. 1

2009年3月20日
PAF 絵画教室
0942-32-7970



PAF 通信

<http://www.psychicartf823.com>

発行者
木塚忠広
〒830-0023
久留米市中央町 13-6

「PAF (プアフ) 通信」発行によせて

みなさん、こんにちは。PAF絵画教室は、みなさんのご支援のお陰で20年目に入りました。その間で、様々な経験をさせて頂きました。短大の講師を兼任したり、西日本新聞に投稿したりで得たものや、20年間子ども達や大人の教室から教えられたことを、少しずつPAF通信に書いていこうと思います。

初回の話は、つい先日、児童画の教室の時間中にN君から、聞かれたことについてお話ししましょう。N君「この教室では、どうして音楽かけると？」すると別のM君が、「先生が好いとるけんやろ？」そこで私が「そうたい、先生が好いとるけんたい。」するとN君が「僕たちが好いとるとばかけてよ。」そして私が「そんなのかけたら、音楽ばかり聴いて絵に集中できんやろ？」これが大体の流れです。

そうです。好いとるけんかけるとです。そして曲に合わせて口笛を吹く時もあります。すると、子どもの中には、口笛が不謹慎だという反応をする子もいれば、同じように口笛を吹く子もいます。つまり、音楽をかける第一の目的は、お絵描きを楽しい時間にしたということからです。これは、大人の教室でも同じです。でも、受験生の場合は、緊張感が必要なので、音楽は、かけないことにしています。

ちなみに、選曲は、耳に優しい音楽であること。モーツアルトや室内楽が主になります。ベートーヴェンやワーグナーも好きですが、ちょっと煩いので、余りかけません。

尚、ご意見や質問を受け付ける為の箱を教室内に設置して、PAF通信に反映させていきたいと思っておりますので、みなさんの投稿よろしく願いいたします。

(zukuboo)

おけいこメニュー

エッシャーのように絵を描こう

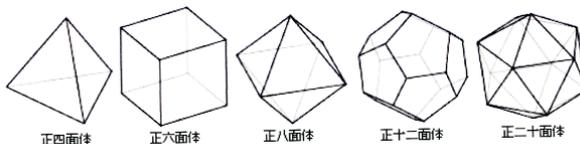
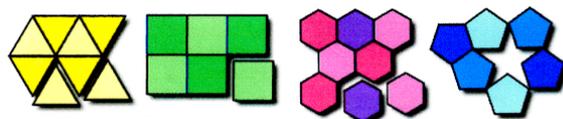
下村智紀



今泉和佳



造形は、折り紙のように数学と深い関係がありますが、今回は、しきつめ図形のお稽古に取り組みました。まず、しきつめ幾何学とは、平面を同じ形でしきつめていくと云うアイデアで、芸術だけでなく数学的にも面白いテーマです。これは古くから研究されていますが、様々な発展があり、現代でも新たな発見がなされています。隙間なくしきつめることのできる形を平面充填形と云います。これを立体にしたものがサッカーボールで、この場合、正五角形と正六角形を組み合わせないと丸い形は作れません。そして同じ種類の正多角形を組み合わせる平面は、3種類(3・4・6角形)だけです。立体で云えば5種類のみになるのです。(正4・6・8・12・20面体)このような技法は、オランダ出身のM・Cエッシャーなどの作家が制作しています。(S)



正四面体

正六面体

正八面体

正十二面体

正二十面体